試作開発、実製品の開発・設計中、販売促進や生産中止判断……各段階に合わせたノウハウが学べる！

V171001

技術者・研究者のための 実務に活かせる「原価計算＆コスト試算」ノウハウ

開講日	受講回数	1口の受講者数
:2017年10月6日（金）	:3回コース(2017年10月～12月の3ヶ月)	:1口3名まで受講可能

受講料

1口 59,400円（ S&T会員受講料 56,430円 ）
（定価：本体55,000円＋税4,400円　会員：本体52,250円＋税4,180円）
※S&T会員(郵送DM案内あるいはE-mail案内を希望される方)は価格が5%OFFになります。

［1名参加も可能です］ 32,400円（ S&T会員受講料 30,780円 ）
（定価：本体30,000円＋税2,400円／会員：本体28,500円＋税2,280円）

≪スケジュール（予定）≫

10月6日	第1講 開講(テキスト到着)
11月6日	第1講 演習問題解答提出締切、第2講 開講(テキスト到着)
12月6日	第2講 演習問題解答提出締切、第3講 開講(テキスト到着)
2018年1月12日	第3講 演習問題解答提出締切
2018年2月上旬	修了証発行

≪教材≫
テキスト ： 各受講者1冊

※ この通信講座では"ebook版テキスト"を配布いたしませんので、ご注意ください
※ なお演習問題解答用紙は、Word,Excel, PowerPoint,PDF などのデータを使用します。

≪受講条件≫
（1）PC の環境は必須です。
・通信講座の進行上の連絡はE-Mail で行います。
本人の個別E-Mail アドレスをご用意ください。
・演習問題解答用紙は、Word,Excel, PowerPoint,PDF などのデータを使用いたします。

（2）受講者全員のS&T 会員登録は必須です。
・通信講座の受講にあたり、講師への質問、修了証発行などに弊社S&T 会員マイページ機能を利用します。
※弊社案内(E-Mail,DM)を希望されない方でも会員ページは使用できますが、案内希望チェックがない場合、会員価格(5%OFF)は適用できません。

講師 (株)MEマネジメントサービス 代表取締役 小川 正樹 氏

1講 事前コスト検討に必要な 原価計算の基礎知識［基礎・入門編］

1. 研究者・技術者に必要な原価計算の基礎知識
 1.1 原価の仕組みと原価を整理する
 1.2 IoT、製品多様化時代の原価計算
 1.3 IoT、製品多様化時代の原価計算

□ 演習問題・添削 □

［演習問題 内容］
Q. 変動費・固定費による原価計算
Q. 製品別標準原価計算表の作成

2講 製品開発・設計に役立つ 材料費・加工費試算ノウハウ［スキルUP 編］

2. 研究者・技術者に必要な材料費の試算ノウハウ
 2.1 材料単価表の作り方
 2.2 材料消費量と材料費計算のやり方
3. 研究者・技術者に必要なレート設定ノウハウ
 3.1 加工賃率(加工費レート)の意味と設定
 3.2 設備費レートの設定
 3.3 時間計算のやり方
 3.4 加工費計算のやり方

□ 演習問題・添削 □

Q. 製品1個あたりの加工費を計算する

3講 開発製品で更なる利益を求めるための「原価計算」活用術［実践編］

4. 研究者・技術者に必要な原価計算の活用ノウハウ
 4.1 コストダウン対象製品を探すための原価計算
 4.2 赤字製品の生産を中止するか継続するか
 4.3 最適設備を選ぶための原価計算
 4.4 停止時間削減、不良半減効果を算定する

□ 演習問題・添削 □

Q. 戦略見直型と改善促進型の改善対象商品を見つける
Q. 内製するか外製するか

通信講座申込用紙　V171001（原価計算）

P

【受講者1／代表者】

会社名 団体名			
部　署			
役　職		住　所	〒
ふりがな			
氏　名			
TEL		FAX	
E-mail	※通信講座進行に使用しますので必ずご記入ください。		

※太枠の中をご記入下さい。※□にチェックをご記入ください。
※E-mailアドレスまたはFAX番号を必ずご記入下さい。

今後のご案内
□E-mail希望・登録済み
□郵送希望・登録済み
□希望しない
} S&T会員価格を適用いたします。(E-mailアドレス必須)

振込予定日　　月　　日

通信欄

【受講者2】

部署			
役職		住所	〒
ふりがな			
氏名			
E-mail	※通信講座進行に使用しますので必ずご記入ください。		

今後のご案内　□E-mail希望・登録済み　□郵送希望・登録済み　□希望しない

【受講者3】

部署			
役職		住所	〒
ふりがな			
氏名			
E-mail	※通信講座進行に使用しますので必ずご記入ください。		

今後のご案内　□E-mail希望・登録済み　□郵送希望・登録済み　□希望しない

●お申込みについて
申込用紙に必要事項をご記入のうえ、FAXでお申込みください。
また、当社ホームページからでもお申込みいただけます。
開講日に請求書(代表者のみ)・受講券・テキストをお送りいたします。

●お支払いについて
受講料は、銀行振込にてお支払いください。原則としてご入金は、請求書到着後(開講日)、1ヵ月間以内にお願いいたします。
原則として領収書の発行はいたしません。振込手数料はお客様がご負担ください。

●個人情報の取り扱いについて
ご記入いただいた個人情報は、事務連絡・発送の他、情報案内等に使用いたします。
詳しくはホームページをご覧ください。

※ご注意※
・お申込み後はキャンセルできません。
ご都合が悪くなった場合は代理の方がご出席ください。
・参加者が最少催行人数に達しない場合など、事情により中止になることがございます。

サイエンス＆テクノロジー
研究・技術・事業開発のためのセミナー/書籍
サイエンス&テクノロジー株式会社
TEL 03-5733-4188　FAX 03-5733-4187
〒105-0013
東京都港区浜松町1-2-12 浜松町F-1ビル7F
http://www.science-t.com

講師やプログラムの内容が変更になる場合がございます。
また、お申込みはHPでもできます。最新の情報はHPにてご確認ください。

検索サイトで **V171001 原価計算** で検索!

講師

(株)MEマネジメントサービス 代表取締役 小川 正樹 氏

【紹介】
1978年青山学院大学 理工学部 経営工学科卒業。大手工作機械メーカー、日本能率協会コンサルティングを経て、1986年(株)MEマネジメントサービス入社。2012年代表取締役。2009年9月より2015年9月迄明治大学特任教員。
原価管理、原価見積、生産・物流管理システムの立案、構築、実施やVE・IE・品質工学を通じて総合的コストダウンを展開し、企業の業績を改革するコンサルティング業務が活動の中心である。技術士(経営工学)。

趣旨

製品原価は仕様書や図面が完成した段階で80％が決まります。企業が利益を上げるための最も有効な方法は原価を下げることであり、それは仕様書や図面を作成する研究者・技術者に委ねられています。原価を下げる第一歩は、原価計算による原価の見える化から始めますが、製品原価を自由自在に把握できる研究者・技術者は、自信を持って日常の業務に取り組み、会社の業績に貢献しています。

本講座は、研究者・技術者の方々に製品原価をコストダウンと、利益を得るために必要な原価計算とコスト試算の技術ノウハウを豊富な事例と演習を交えて徹底指導します。

第1講 「事前コスト検討に必要な原価計算の基礎知識」

プログラム

1. 研究者・技術者に必要な原価計算の基礎知識
1.1 原価の仕組みと原価を整理する
(1) 原価とは
(2) 材料費・労務費・製造経費とはなにか
(3) 原価を使われた目的で分類する
(4) 製造原価の構成比率は変化している
(5) 業種別にみると
(6) 原価の構成比率は業種別で違いが大きい
(7) 直接費、間接費とは何か
(8) 変動費、固定費とは何か

1.2 IoT、製品多様化時代の原価計算
(1) SCM(Supply Chain Management)から VCM(Value Chain Management)へ
(2) IoTはコンポーネントのネットワークを基盤に構成される
(3) IoT、製品多様化に向かっての見積原価計算と技術情報
(4) 事前コストの算定基準

1.3 IoT、製品多様化時代の原価計算
(1) 見積原価計算はどのようにやるのか
(2) 詳細見積のやり方

□ 演習問題・添削 □

★[非提出] 演習問題
……受講前の理解度チェック、受講後の復習用等に。
Q. 費目の原価分類分け
Q. 直接費・間接費および変動費・固定費への区分

★[提出用] 演習問題
……添削付きの演習問題。おさらいや苦手箇所の発見に。
Q. 変動費・固定費による原価計算
Q. 製品別標準原価計算表の作成

第2講

プログラム

2. 研究者・技術者に必要な材料費の試算ノウハウ
2.1 材料単価表の作り方
(1) 例題:カレーライスはレトルトが一番安い
(2) 材料の単価表を作ってみる
(3) 価格構成の基準設定
(4) 平均単価の設定

2.2 材料消費量と材料費計算のやり方
(1) Step1 材質の決定(どの材料を使うか)
(2) Step2 製品の単位あたり寸法と面積計算
(3) Step3 製品重量の計算
(4) Step4 使用材料の形状・寸法・取数決定
(5) Step5 最適歩留となる材料選択
(6) Step6 材料仕込量(重量)の計算
(7) 製品1個に必要な材料費を計算してみる

3. 研究者・技術者に必要なレート設定ノウハウ
3.1 加工賃率(加工費レート)の意味と設定
(1) 加工費レートに含める範囲の原価
(2) 1秒1円の加工費がかかる
(3) 費目別原価計算
(4) 部門別原価計算・配賦基準の決定
(5) 部門別原価計算
(6) 補助(間接)部門費の配賦計算
(7) 変動費・固定費の分解計算(変動費と固定費を分けてみる)
(8) 加工費レートの計算(変動費レートと固定費レートを計算する)

3.2 設備費レートの設定
(1) 減価償却費とは何か
(2) 設備費レートの設定
(3) 金型・治具工具費の計算方法
(4) 設計開発費の見積は

3.3 時間計算のやり方
(1) 工数設定と工数見積
(2) 標準時間の構成
(3) 1回の段取時間と段取工数の決定
(4) 生産ロットの決定

3.4 加工費計算のやり方
(1) 加工費の計算式
(2) 変動加工費を計算する
(3) 固定加工費を計算する
(4) 加工費を計算する
(5) ロットの大小がコストに与える影響

□ 演習問題・添削 □

★[非提出] 演習問題
Q. 材料費計算にトライ！　Q. 加工費計算表の作成

★[提出用] 演習問題
Q. 製品1個あたりの加工費を計算する

第3講

プログラム

4. 研究者・技術者に必要な原価計算の活用ノウハウ
4.1 コストダウン対象製品を探すための原価計算
(1) 限界利益率と付加価値率の計算
(2) 原価のポートフォリオにプロット
(3) 戦略見直型製品
(4) 改善促進型製品

4.2 赤字製品の生産を中止するか継続するか
(1) 損益分岐点とは何か
(2) 限界利益・限界利益率とは何か
(3) 損益分岐点シミュレーション
(4) 作れば作るほど赤字になる製品とは
(5) 赤字受注をするかしないか
(6) 値引き要求に応じるか
・顧客から追加注文を条件に30%の値引き要求がきた場合
・何%までの値引きなら応じるか
(7) 内製するか外製するか

4.3 最適設備を選ぶための原価計算
(1) 省人化の設備投資はいくらまで
(2) 投資金額はいくらまで可能か

4.4 停止時間削減、不良半減効果を算定する
(1) 停止時間削減の効果
(2) 手不足状態の場合
(3) 手あまり状態の場合

□ 演習問題・添削 □

★[非提出] 演習問題
Q. 損益分岐点シミュレーション
Q. 作れば作るほど赤字になる製品
Q. 赤字受注をするか、しないか
Q. 値引き要求に応じるか
Q. 省人化の投資金額はいくらまで可能か

★[提出用] 演習問題
Q. 戦略見直型と改善促進型の改善対象商品を見つける
Q. 内製するか外製するか

※[非提出]演習問題は、各講のテキスト本文内に収録いたします。
解答は各講テキスト末尾に御座いますので、答え合わせはご自身で行えます。

※各講の演習問題内容は、現時点で予定しているものを掲載しております。